

応答 ŌTŌ SUMMER STATEMENT 2018 報告とその後

応答 ŌTŌ SUMMER STATEMENT 2018 報告とその後

Kai Teraoka, Keisuke Jimba, Sboji Funakawa, and Kodai Kita

企画 藤本悠里子 秋田公立美術大学大学院2年

アーティスト 寺岡海、神馬啓佑、船川翔司、来田広大

応答 ŌTŌ | SUMMER STATEMENT 2018 | 報告とその後 前期

Out of Exhibition

企画 藤本悠里子 | 秋田公立美術大学大学院2年 | YURIKO FUJIMOTO

2018.12.15 Saturday — 2019.1.13 Sunday
2019.1.8 Tuesday — 13 Sunday は後期に向けて展示入れ替え作業をしております。

秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT

アーティスト秋田滞在 2019.1.8 Tuesday — 13 Sunday

会場 秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT 秋田市八橋南一丁目1-3 CNA秋田ケーブルテレビ社屋内 入場無料

会場 秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT 秋田市八橋南一丁目1-3 CNA秋田ケーブルテレビ社屋内 入場無料

応答 ŌTŌ | SUMMER STATEMENT 2018 | 報告とその後 後期
会期: 2019年1月14日[月]—2月24日[日] 09:00—18:00
会場: 秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT

秋田 Akita

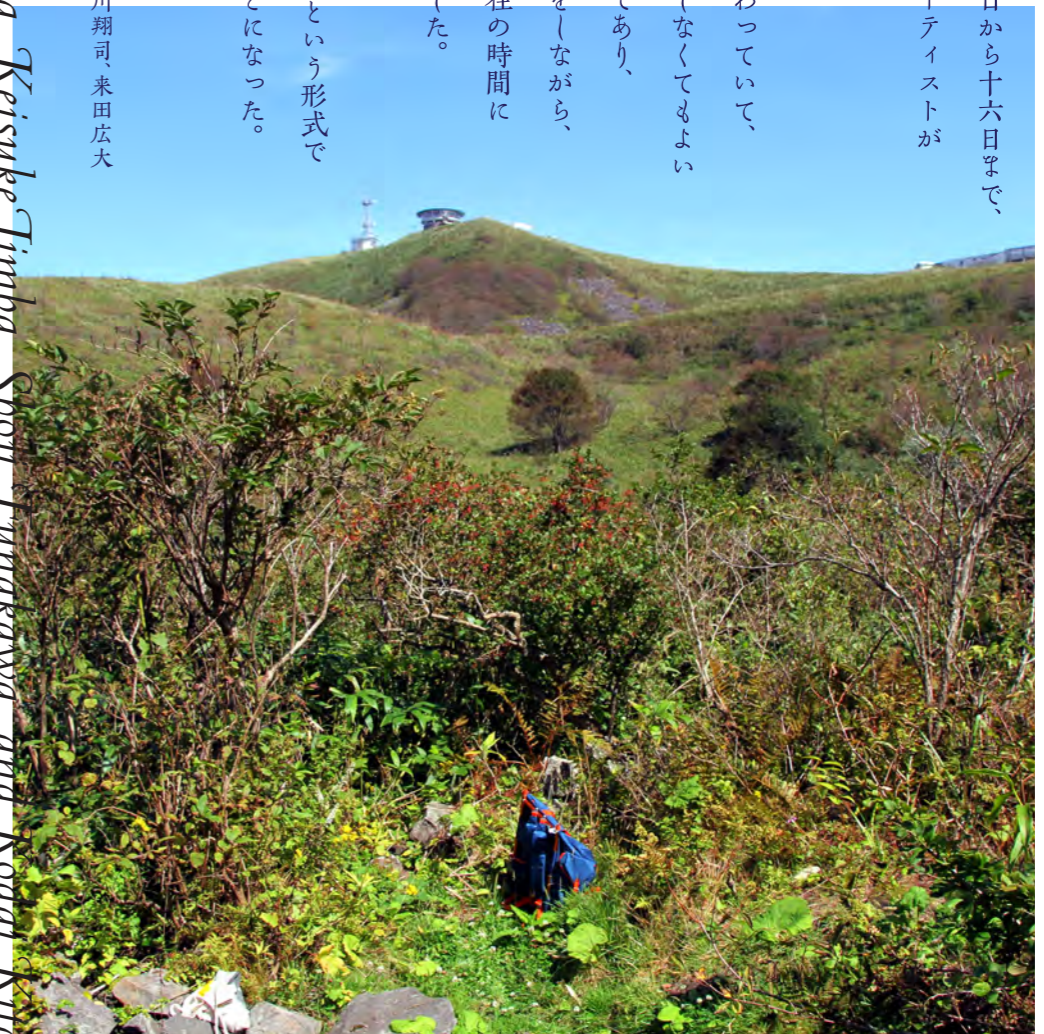
Kai Teraoka, Keisuke Jimba, Sboji Funakawa, and Kodai Kita

アーティスト
寺岡海、神馬啓佑、船川翔司、来田広大

後日、それを展覧会という形式で秋田で発表することになった。

その滞在は少し変わっていて、作品制作を目的としなくてもよいという名目のもとであり、
同ド家で共同生活をしながら、それぞれがその滞在の時間に見合った使い方をした。

二〇一八年九月四日から十六日まで、
関西から四名のアーティストが秋田に滞在した。



企画 藤本悠里子 秋田公立美術大学大学院2年

アーティスト 寺岡海、神馬啓佑、船川翔司、来田広大

前期 | Out of Exhibition | 2018年12月15日[土]—2019年1月13日[日] | 09:00—18:00

主催 | 秋田公立美術大学 & NPO法人アーツセンターあきた & 向三軒両隣 協力 | CNA 秋田ケーブルテレビ 助成 | 秋田市地域づくり交付金事業 休館日 | 2018年12月29日[土]—2019年1月3日[木]

後期 | 秋田 Akita | 2019年1月14日[月]—2月24日[日] | 09:00—18:00

<https://summerstatement.mukousangenryodonari.cloud> | 2018年12月15日公開

前期 | Out of Exhibition | 2018年12月15日[土]—2019年1月13日[日] | 09:00—18:00

主催 | 秋田公立美術大学 & NPO法人アーツセンターあきた & 向三軒両隣 協力 | CNA 秋田ケーブルテレビ 助成 | 秋田市地域づくり交付金事業 休館日 | 2018年12月29日[土]—2019年1月3日[木]

後期 | 秋田 Akita | 2019年1月14日[月]—2月24日[日] | 09:00—18:00

<https://summerstatement.mukousangenryodonari.cloud> | 2018年12月15日公開

Kai Teraoka, Keisuke Jimba, Sboji Funakawa, Kodai Kita and Yuriko Fujimoto

BIYONG POINT

arts center akita

向三軒両隣
mukousangen ryodonari

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

BIYONG POINT

arts center akita

向三軒両隣
mukousangen ryodonari

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

応答 ŌTŌ | SUMMER STATEMENT 2018 | 報告とその後

Kai Teraoka, Keisuke Jimba, Sboji Funakawa, Kodai Kita and Yuriko Fujimoto

前期 | Out of Exhibition | 2018年12月15日[土]—2019年1月13日[日] | 09:00—18:00

休館日 | 2018年12月29日[土]—2019年1月3日[木]

後期 | 秋田 Akita | 2019年1月14日[月]—2月24日[日] | 09:00—18:00

会場 | 秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT | 秋田市八橋南一丁目1-3 CNA秋田ケーブルテレビ社屋内 | **入場無料**

企画 | 藤本悠里子 | 秋田公立美術大学大学院2年

アーティスト | 寺岡 海 *海* 神馬啓佑 *佑* 船川翔司 *翔* 来田広大 *大*

主催 | 秋田公立美術大学 *大* NPO法人アーツセンターあきた *あ* 向三軒両隣 *向* 協力 | CNA 秋田ケーブルテレビ *ケーブル* 助成 | 秋田市地域づくり交付金事業 *交付*



Kai Teraoka, Keisuke Jimba, Sboji Funakawa, Kodai Kita and Yuriko Fujimoto

応答 ŌTŌ | SUMMER STATEMENT 2018 | 報告とその後

前期

Out of Exhibition

2018.12.15 *Saturday* — 2019.1.13 *Sunday* | アーティスト秋田滞在 2019.1.8 *Tuesday* — 13 *Sunday*
2019.1.8 *Tuesday* — 13 *Sunday* は後期に向けて展示入れ替え作業をしております。

秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT

企画 藤本悠里子 | 秋田公立美術大学大学院2年 | YURIKO FUJIMOTO



これまで若手アーティストの支援や展覧会の企画に携わってきた中で、アーティストの創造活動を展覧会という形式で発表することに疑いはありませんでした。しかし、「展覧会では見えていないところ」、つまり「展覧会の外」にもアーティストたちの活動は存在しており、作品としてのかたちを得たものの周りには、作品には現れていないたくさんの思考や出来事、言葉が溢れています。私はこれらの要素に目を向けて、企画を立てることはできないだろうかと考えました。

この度行った「SUMMER STATEMENT 2018」の中ではアーティストの「生活」と「制作活動」の両方の要素が存在していました。そこに、学生や教職員、土地に暮らす人たちが立ち会い、関わりを持つことで、様々な言葉や考えが交換され、日々状態が変化する動きのある企画となりました。

前期「Out of Exhibition」では「SUMMER STATEMENT 2018」を通して集めた記録をもとに、実際にどのような状況が創出されていたのか、また、アーティストや滞在に関わった人たちにどのような影響をもたらしたのかを考察し、報告いたします。これらの考察を経て、アーティストによる新しい表現が生まれる現場をどのように創造できるのか、またキュレーターやコーディネーターはいかにアーティストの創作活動に関わることが可能なかを明らかにする研究へと繋げたいと考えています。

藤本悠里子

関連イベント | 複合芸術会議2018：京都セッション

移動すること、作ること、暮らすこと

日時 | 2018年12月27日[木] | 18:00—20:30

会場 | MEDIA SHOP gallery | 京都市中京区河原町三条下る一筋目東入 大黒町44 VOX ビル 1F

登壇者 | 服部浩之(インディペンデント・キュレーター、秋田公立美術大学大学院准教授)、唐澤太輔(哲学・文化人類学研究者)、國政サトシ(現代美術家・秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻助手)、寺岡 海(現代美術家)、神馬啓佑(同左)、船川翔司(同左)、来田広大(同左)、藤本悠里子(秋田公立美術大学大学院2年)

主催 | 秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科

関連イベント | アーティスト秋田滞在

アーティストが秋田に滞在し、創作活動の一部公開やイベントを不定期に行います。※詳細は本企画特設サイトに告知予定。

日時 | 2019年1月8日[火]—1月13日[日]

会場 | 秋田公立美術大学ギャラリー-BIYONG POINT、秋田公立美術大学 他

応答 ŌTŌ | SUMMER STATEMENT 2018 | 報告とその後

秋田 | Akita

会期: 2019年1月14日[月]—2月24日[日] 09:00—18:00

会場: 秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT

アーティスト: 寺岡 海、神馬啓佑、船川翔司、来田広大

後期

2018年9月4日から16日まで、関西から4名のアーティストが秋田に滞在了。その滞在は少し変わっていて、作品制作を目的としなくてもよいという名目のもとであり、同じ家で共同生活をしながら、それぞれがその滞在の時間に見合った使い方をした。後日、それを展覧会という形式で秋田で発表することになった。あの制作を目的としなくてもよい滞在をどのように展覧会に接続すればよいのだろう。そう考えた末、展覧会のタイトルを「秋田」と名付けることにした。なぜならあの滞在は私達にとって「秋田」という言葉以外で説明することが難しかったからである。滞在の中では制作を目的としていなかったため、制作行為からこぼれ落ちる、いわばその外側の出来事がたくさんあり、それを作品制作と同様に構造的に回収しなければおかしかったからである。それは滞在期間に起こったことを制作という軸で編集し直し、展覧会として成り立たせるのではなく、秋田での滞在をその時間に関わったアーティストの記録として括り成立させることである。それは秋田での滞在の時間をアーティストが「秋田」で何かを「した」ということによって、名詞を動詞化することでもある。「2018年9月、秋田でアーティストがした。」この展覧会は秋田での2週間ほどの滞在の時間を経て、アーティストそれぞれが秋田を動詞化することの記録であり、秋田への滞在の応答となる。

寺岡 海、神馬啓佑、船川翔司、来田広大



寺岡 海 *Kai Teraoka*

1987年 広島県生まれ
2012年 嵯峨美術大学芸術学部造形学科油画分野卒業

主な展覧会 2018年 個展「A Wind #2」2kw gallery (東京)、2017年 個展「A Wind」KUNST ARZT (京都)、「韓日芸術通信.art2 Cross Point」韓国忠北文化館(韓国)、「未来の途中の、途中の部分」@KUCA 京都市立芸術大学ギャラリー(京都)、2015年 個展「Blanket and Dog」Gallery PARC(京都)等。

神馬啓佑 *Keisuke Jimba*

1985年 愛知県生まれ
2011年 京都造形芸術大学大学院芸術表現専攻油画分野修了

主な展覧会 2018年 個展「当然の結末#3 好物の話」VOU/榎(京都)、個展「当然の結末#2(機軸と干渉、言語能力、円周軌道)」Gallery PARC(京都)、2016年「肉とヴェール」京都芸術センター(京都)、「VOCA 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」上野の森美術館(東京)等。

船川翔司 *Sboji Funakawa*

1987年 鹿児島県生まれ
展示やパフォーマンスを中心に活動

主な参加企画 2017年「YAKATA」山本製菓(大阪)、2016年「金感覚祭 16」(東京)、「7つの船」(大阪)、「ゴンゾ解体新書」[contaco gonzo × アキビオオケストラ] 中之島中央公会堂(大阪)、2015年 個展「天気が報」mograg gallery (京都)等。他ライブ多数出演。

来田広大 *Kodai Kita*

1985年 兵庫県生まれ
2010年 東京藝術大学大学院 美術研究科 油画技法材料修了

2016年—2017年 ボーラ美術振興財団在外研修員としてメキシコシティ滞在
主な展覧会 2018年「ASK—7人の作家」ART OFFICE OZASA(京都)、2017年 個展「Ave topográfica」Galería Karen Huber(メキシコ)、「VOCA 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」上野の森美術館(東京)等。

関連イベント | 「秋田」プレオープンイベント

日時 | 2019年1月13日[日] | 18:00—

会場 | 秋田公立美術大学ギャラリー-BIYONG POINT

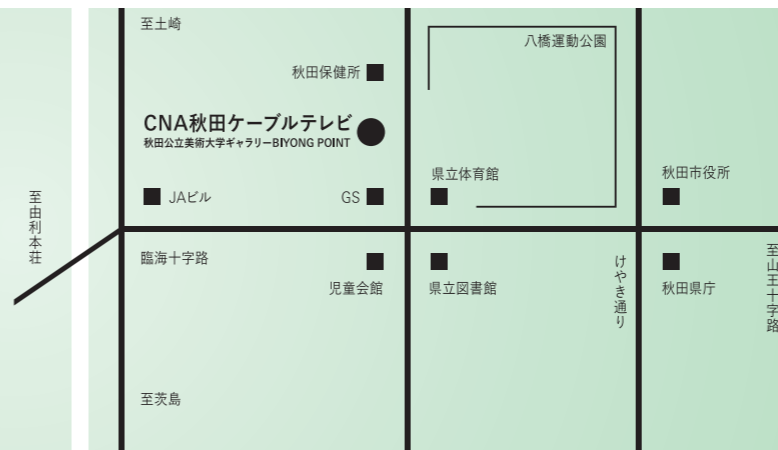
関連イベント | 秋田公立美術大学大学院修了研究展 2019

日時 | 2019年2月15日[金]—2月19日[火]

会場 | 秋田市にぎわい交流館AU 多目的ホール (秋田市中通1丁目4-1)

主催 | 秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科

「SUMMER STATEMENT 2018」について——本企画に参加しているアーティストの寺岡 海、神馬啓佑、船川翔司の3名はこれまで彼らを中心に集まったアーティストたちと共に、毎年継続して広島の尾道で自主的な短期滞在を行っていました。その際、滞在の目的や過ごし方は個々の判断に任ざされており、作品制作だけでなくリサーチや観光、交流などアーティスト個々の興味や必要に応じて活動を展開しています。企画者である藤本は、彼らの活動を「アーティストの夏休み」であると解釈し、これを秋田で行うことを提案しました。アーティストが一時的に環境を変えて「生活をしている」とも「制作活動をしている」とも言える状態に立ち会うことで、創造活動の始まりや過程を観察・調査することができるのではないかとこの意図から始まった企画です。そして、2018年9月4日から9月16日まで、寺岡 海、神馬啓佑、船川翔司、そして来田広大の4名を秋田に招き、「SUMMER STATEMENT 2018」と題したアーティスト秋田滞在企画を実施しました。この滞在では、秋田公立美術大学でのトークイベントの開催や、滞在中のアーティストの様子を日々公開する特設サイトの設置、学生や教職員、企画者による滞在への参加という要素が含まれ、活動を発信し、記録として蓄積することにも務めました。本来、本企画はアーティストたちに成果を発表することを求めないという前提で行ったものでしたが、作品制作を目的としない滞在を経てアーティストたちが何をもち帰り、藤本が滞在に対してどのような考察を残すのか、滞在のその後を見てみたいという思いから、本展覧会を開催する流れとなりました。



アクセス——秋田公立美術大学ギャラリー-BIYONG POINT
〒010-0976 秋田市八橋南一丁目1-3 CNA秋田ケーブルテレビ社屋内

問い合わせ——NPO法人アーツセンターあきた
〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学アトリエもさだ内
Telephone | 018 888 8137 E-mail | info@artscenter-akita.jp
Web | https://www.artscenter-akita.jp

交通アクセス——秋田駅西口バスターミナルより、秋田中央交通バス2・3・5番線乗車「県立体育館前」「秋田市保健所・サンライフ秋田前」停留所下車、徒歩3分
※お車の方は、CNA秋田ケーブルテレビお客様用駐車場をご利用いただけます。